ハラタケ科

ケシボウズタケ

Tulostoma brumale Pers.

兵庫県ランク… 調
環境省ランク… DD

■ 県内分布

南あわじ市

■ 国内分布

静岡県、三重県、兵庫県、他

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

■ 特記事項

海浜性の植物と関連があり、海浜性植物の減少とともに発生は激減している。日本産ケシボウズタケ属菌にはアバタケシボウズタケやナガエノホコリタケ、ウネミケシボウズタケなど、ケシボウズタケに形態、生態的に類似する種が数種存在することが判明しており、しばしば混同されている。

■ 保護上の留意点

発生地の保全、砂地と海浜植物の面積割合のバランスを保つ。

■ 種の概要

子実体は幼菌の間、地中生で、径1-1.5cmの球形または類球形、最初は白色で、のち褐色となる。成熟すると柄部が伸長し、頭部は地表に出る。殻皮は2層で、外皮は地表で剥落し、頭部の下や柄の基部に残る。内皮は膜質か紙質で成熟すると項孔を開き、孔口は乳頭状に突出し、円孔は明瞭である。肉は白色で中空か中実。頭部は基本体で、暗褐色の粉状胞子塊となる。夏から秋に、砂地や荒地に発生する。